

随意契約結果書

物品等の名称及び数量	令和7年度流木及び細粒土砂の流出過程を考慮した二次元土砂・洪水氾濫解析モデルの高度化
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所長 国土交通技官 竹下 航 奈良県五條市三在町1681
契約締結日	令和 7年 4月28日
契約の相手方の氏名及び住所	国立大学法人京都大学
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥8,499,700-
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥8,499,700-
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
備考	

随意契約理由書

ランク	特例政令などの該当
e	非該当

1. 件 名 流木及び細粒土砂の流出過程を考慮した二次元土砂・洪水氾濫解析モデルの高度化

2. 委託先 国立大学法人京都大学

3. 随意契約理由

本委託研究では、「1. 橋梁への流木の集積による土砂及び洪水の氾濫特性」、「2. 連行の概念による細粒土砂の輸送過程を考慮した河床変動特性」の二つの研究課題について実施する。課題 1 については、河床変動を考慮した流木の橋梁への集積条件に関する数理モデルを構築する。また、構築した流木集積モデルを平面二次元河床変動シミュレーションモデルに導入し、土砂及び洪水の氾濫特性の評価を試みる。課題 2 では、プラントルの第一種二次流、河岸浸食、局所河床勾配の影響、植生、多層粒度分布モデル、砂州内の浸透流の数理モデルなどを考慮した平面二次元河床変動シミュレーションモデルを構築する。

本委託研究は、国土交通省が行った令和 7 年度河川砂防技術研究開発公募（地域課題分野）に対し応募のあった技術研究開発テーマについて、砂防技術評価委員会による継続課題の中間評価を経て決定されたことから、本研究課題について委託先（京都大学（竹林洋史を研究代表者とする共同研究体））と契約を行うものである。

4. 随意契約する根拠法令

会計法第 29 条の 3 第 4 項及び予決令第 102 条の 4 第 3 号

推薦者 官職 紀伊山系砂防事務所
調査課長
氏名 山田 啄也